

# English learner を English user へ育てる 英語教育の研究



西垣 知佳子 Nishigaki Chikako

千葉大学教育学部教授

専門分野：英語科教育、第二言語習得研究

千葉大学大学院自然科学研究科（博士課程）修了、博士（学術）。明海大学専任講師を経て、1996年に千葉大学に着任、2010年より現職。2002年度から2004年度にNHKラジオ『英語リスニング入門』番組講師。

## — どのような研究内容か？

English learner（英語の学習者）を English user（英語の使い手）へと育て、世界で通用する英語力を備えた人材を育てるための英語教育研究を行っています。

文部科学省は2014年に、アジアトップの英語力の獲得を目標に掲げ、英語教育改革に乗り出しました。学校における英語教育はこれまでにないスピードで変化を遂げています。

西垣研究室では、英語教育研究のなかでも、基礎研究として外国語習得のプロセスとメカニズムの研究、また英語教材研究を行い、それらの成果に基づいて、小学校、中学校、高等学校の先生方と協力し、教材と指導法の開発を行っています。また実際に授業で実践し、その効果を検証しています。

研究成果は次のような形で社会に還元しています。

### (1) 公共放送での語学学習番組の作成と出演

2016年4月より、NHKラジオ講座『基礎英語2』の番組講師を担当します。音声素材を作成してテキストを執筆し、番組づくりを行い、番組に出演します。自身の研究成果を活かして、今までの『基礎英語』にはない、独自のスタイルで番組づくりを行っています。

具体的には、日本人にとってチャレンジングな自然なスピードの英語を聞いて「だいたいわかる」⇒「正確にわかる」⇒「深くわかる」⇒「話せるようになる」というステップを踏んで、「できるぞ!」という経験を積み重ねられる教材を作っています。これらの内容は2日間かけて丁寧に学びますが、2日間かけるステップ積み上げ型の方法は『基礎英語』としては新しい試みです。

### (2) 学習語彙の選定と教材作成

基礎研究として、学習段階に応じて学ぶべき語彙の選定研究を行っています。独自の言語データベースを作成して客観的基準で学習語彙を選定し、高い学習効率を検証しました。

## 今年**基礎英語**に注目!

英語教育の新スタンダードCAN-DOが大幅リニューアル!



NHKラジオ講座『基礎英語2』より



iPhone、iPad教材(2)c)

そのうえで以下の教材を作成しました。a) 有効性の高い語彙を楽しく学べるカード教材を作成しました。市販され（開隆堂出版）、家庭や学校で使われています。b) 語彙指導の方法を研究し、カード教材と合わせて指導書を出版しました（明治図書）。c) 国立研究開発法人 情報通信研究機構（NICT）と

の共同研究で、子どもから成人まで、レベルに合わせてゲーム形式で語彙を学び、英語力を鍛えるアプリを開発し、iTunes Storeで公開しました。d) 多言語の語彙学習教材へと発展させました。コンテンツが海外で評価され、2015年に中国から4か国語（英中日韓）として出版されました（外語教学研究社出版）。

(3) データ駆動型学習 (Data-Driven Learning)

「データ駆動型学習」とは学習者が言語データを観察して、自ら文法規則を発見して習得する文法学習方法で、コミュニケーション練習と組み合わせて行う点が特徴的です。文法学習は「難しい、つまらない」と評判がよくありませんが、文法能力は言語能力の基盤として重要です。そこで「英文法の教えない教え方」「教わる英文法学習から探究する英文法学習へ」というキャッチフレーズのもと、「データ駆動型学習」による英語文法指導の探究を行っています。

—— 何の役に立つ研究なのか？

英語力はグローバルコミュニケーションの礎です。言語習得のプロセス、メカニズムにかなった英語学習と指導法の研究は、世界で活躍できる日本人の育成に貢献します。

—— 今後の計画は？

「データ駆動型学習」による指導をさらに探求していきたいと考えます。

—— 関連ウェブサイトへのリンク URL

- ▶ 研究室サイト
- ▶ NHK 関連のサイト (1)
- 英語学習アプリ (2)
- ▶ 英語カルタ
- ▶ 英語カルタ Tablet



中国で出版された4か国語の語彙学習教材です